

堺市人権協だより

こころの響き

こころをつなぐ やさしい気持ち

思いやりのある行動と正しい知識を持って
コロナを乗り切ろう！



- P1 堺市人権教育推進協議会とは
- P2 加盟団体の紹介
- P3 新型コロナウイルス感染症と人権について
- P4 寄稿文 森光 玲雄さん・
「不安」から心を守る5つの方法
- P5-6 第41回わたしからの人権メッセージ ~特選作品の紹介~
- P7 人権啓発DVDのご案内

堺市人権教育推進協議会では、
皆様に人権啓発の一環として、
人権の大切さを発信するため、
毎年「こころの響き」を
発行しています。

人権協ホームページ  
<https://www.jinkenkyo.jp>



堺市人権教育推進協議会（略称：人権協）とは

人権協は部落差別をはじめ、一切の差別をなくし、すべての人の人権を守るため、1979年7月に発足した市民組織です。各種市民団体、企業、宗教法人等の多くの方々により構成され、すべての人の人権が尊重される平和で豊かな社会をつくるため、さまざまな人権啓発活動を推進しています。



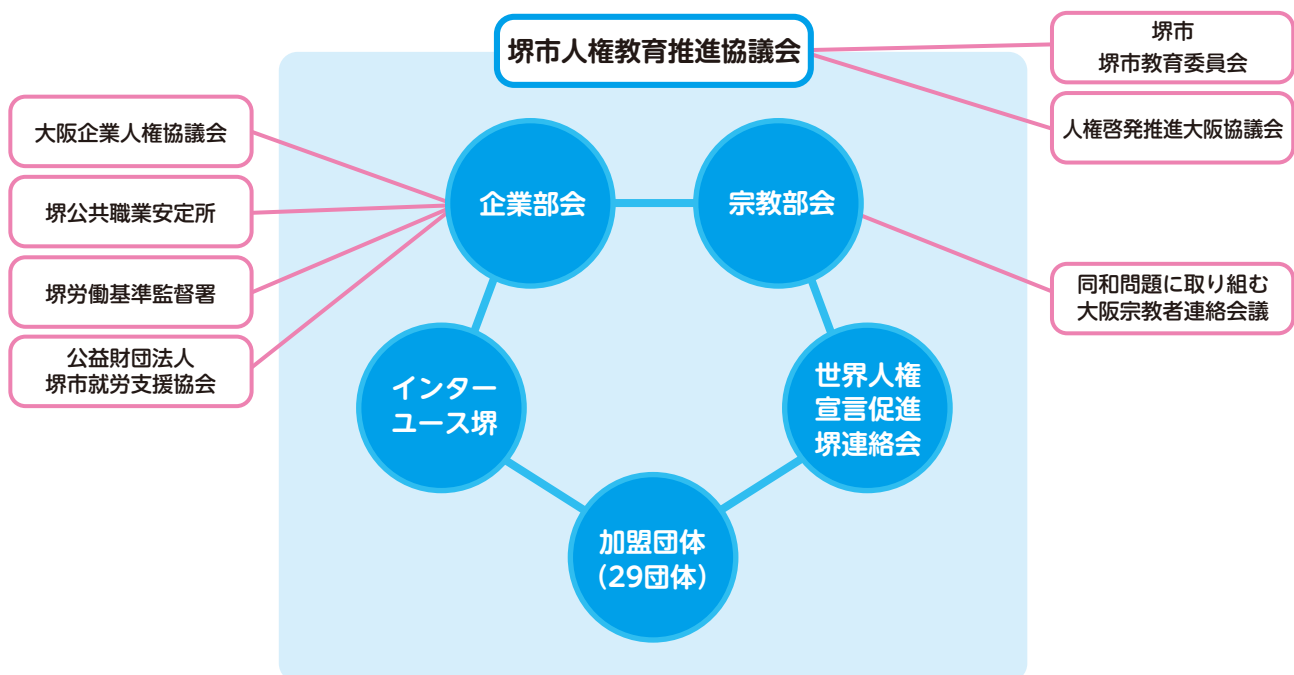
会長 金丸 尚弘



堺市人権協のシンボルマークは、人と人が手を取りあい、人権を守り、世界の平和を願う姿をあらわしています。

組織図・役員

会長	金丸 尚弘	(堺市人権教育推進協議会企業部会)
副会長	久保 照男	(堺市自治連合協議会)
	野村 友昭	(堺市 PTA 協議会)
	木戸 一智	(堺市立校園長会)
	吉村 誠治	(堺市人権教育推進協議会宗教部会)
会計	小山 敏美	(堺市更生保護女性会)
	山口 典子	(堺市女性団体協議会)
	白本 忠史	(堺市保育会)
	竹田 進一	(部落解放同盟大阪府連合会堺支部)
	森内 啓子	(堺人権擁護委員協議会堺市地区委員会)



- ・ 堺市教育会
- ・ 堺市在日外国人教育研究会
- ・ 堺市女性団体協議会
- ・ 堺市青少年指導員連絡協議会
- ・ 堺市 P T A 協議会
- ・ 特定非営利活動法人さかい民間教育保育施設連盟
- ・ 堺市立校園長会
- ・ 堺地区行政相談委員会
- ・ 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
- ・ 株式会社URコミュニティ西日本支社 泉北住まいセンター
- ・ 堺市更生保護女性会
- ・ 堺市自治連合協議会
- ・ 堺市私立幼稚園連合会
- ・ 堺市人権教育研究会
- ・ 堺市保育会
- ・ 堺市民生委員児童委員連合会
- ・ 一般社団法人堺市老人クラブ連合会
- ・ 堺市保護司会連絡協議会
- ・ 自由同和会大阪府本部堺支部
- ・ 部落解放同盟大阪府連合会堺支部
- ・ 堺市こども会育成協議会
- ・ 堺市社会教育委員会議
- ・ 特定非営利活動法人堺障害者団体連合会
- ・ 堺市農業協同組合
- ・ 一般財団法人堺市母子寡婦福祉会
- ・ 堺商工会議所
- ・ 堺人権擁護委員協議会堺市地区委員会
- ・ 社会福祉法人堺市社会福祉協議会
- ・ 大阪府立学校長協会 第8地区

加盟団体の紹介

堺市保育会

堺市保育会は、昭和5年6月、本市の幼児教育の振興に寄与することを目的とし、市当局・後援者・教育者及び幼稚園教職員が一体となって結成された民間団体です。

第二次世界大戦で一時解散となりましたが、幼稚園が次第に復興されると共に、保育会も昭和22年に再発足し、幼児教育に対する市民の要望も高まり、幼稚園も年々新設されました。同時に保育会の会員も増加し、充実・発展を続けてきました。令和2年度には、保育会は創立90周年を迎えました。

その歩みの中から、いくつかの活動を紹介します。

- ・教職員の資質向上をめざし、他府県への視察研修や事前事後研修の実施
- ・保護者どうしを繋ぐ研修の場や機会の提供
- ・子育て支援の一環として、『子育てひろば』の開催
- ・表現力豊かな作品の展示と啓発活動『ようちえんてん』開催
- ・親子で楽しむ観劇と歌の集い『幼稚園のつどい』開催
- ・幼児教育の充実をめざし、堺市立幼稚園の

特色ある取組や、保育会の事業報告をまとめた会誌の作成及び情報発信などがあげられます。

このように、堺市保育会は子ども・保護者・教職員がつながる場として、また地域と幼稚園がつながる場として、90年の歴史を刻んでいます。

たくさんの先輩保護者の皆様や元園長先生方も、会員として本会に残り、堺市立幼稚園を応援してくださっています。

誰もが予想だにしなかったコロナウイルス感染拡大に伴い、教育の場には課題が山積しています。子どもたちを取り巻く社会環境や生活様式が大きく変容し、自粛生活や行動規制からくるストレスや、感染者や医療従事者などへの差別事象が発生しています。また、家庭生活において児童虐待やDV件数が著しく増加し、子どもの貧困も問題視されています。

今こそSDGsの実現に向けた取組が求められています。教育の応援隊である保育会に何ができるのか、創立時の先人たちの想いを受け継ぎながら、現場の先生方と共に考え、活動を推進していきます。

堺市立校園長会

堺市立校園長会は、堺市立幼稚園長会、堺市立小学校長会、堺市立中学校長会によって構成されています。それぞれの活動方針等は次のとおりです。

[堺市立幼稚園長会]

本会は、堺市立幼稚園の園長の職務にある者をもって組織し、会員相互の研鑽により職能の向上に努め、堺市立幼稚園の教育の振興を図ることを目的としています。幼児教育は高等学校までつながる学校教育の始まりです。幼児期にふさわしい遊びや生活を通して、総合的な指導を行い、学びの芽生えを育む教育を推進していきます。

[堺市立小学校長会]

本会は、堺市立小学校長・堺市立支援学校長をもって組織し、会員相互の研鑽により職能の向上に努め、堺市立小学校の教育の振興を図ることを目的としています。また会員相互の協調を図り、他団体と連携して堺市教育の発展に寄与しています。本会では、創立以来、「自由都市・堺」の歴史と文化をふまえ、時々の教育課題に即した各種事業の推進・研究活動・教育条件の整備を行い、本市小学校教育の充実と発展のために努力を積み重ねています。

[堺市立中学校長会]

本会は、堺市立中学校長をもって組織し、中学校教育上の課題・施策を研究し、学校運営の指針を探究するとともに、会員相互の協調・連帯を深め、堺市立中学校教育の発展を図ることを目的としています。本会では、中学校教育上の調査研究や教育活動の推進などの事業を行っています。

昨年度末より新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、令和2年3月から全国の学校園が臨時休校となりました。各学校園が再開となっても、園児・児童・生徒や教職員の健康や生活のケアなど、「新しい生活様式」のもと、この感染症とともにさまざまな教育活動を展開してきました。

今後も、社会や教育の現状を深く認識し、人権尊重の精神を基盤としながら、市や市教育委員会、関係機関、そして家庭・地域との連携・協力を図り、実効ある教育活動を推進していきます。

新型コロナウイルスで心まで傷つけないで



まだわからないことが多いウイルスへの不安な気持ちを解消するために、悪意がなくても、思い込みから人を傷つけてしまうことがあります。

例えばどういうことが起きているの？

- 感染した人の名前や住所を特定し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や匿名掲示板で批判する。
- 感染した人や医療関係者の子どもに対するいじめ
- 外国人に対するいやがらせ

誰もが不安な今こそ、思いやりのある行動と正しい知識を持って
お互いを支え合い、安心して暮らせる社会にしましょう！

不安になったときは

- 情報から離れてみる
- 一呼吸置いて冷静になる
- 安心できる人と話して色々な意見を聞く
- 他の人が置かれた状況を想像してみる

とても不安なんだ。
あなたはどうか？



私も不安だよ。みんな不安だと思う。
だけど、私は人を傷つけないように
しようと思っているよ。



ありがとうの気持ちと エールを送ろう

社会を支えるすべての人に感謝と敬意を
忘れないようにしましょう。思いやりの気
持ちを持って、お互いに助け合い、コロナ
禍を乗り越えましょう。



やさしい気持ちは人と人とのこころをつなぎます

メディアリテラシーと人権

私たちの暮らす社会には、新聞、テレビ、ラジオ、書籍、
広告、インターネットなどの情報媒体（メディア）を通して、
たくさんの情報があふれています。



メディアリテラシーとは？ 以下の3つの要素で構成される複合的な能力を意味します。

メディアを主体的
(情報をうのみにしない) に
読み解く能力

メディアにアクセスし
活用する能力

メディアを通じ
コミュニケーションする能力



メディアリテラシーとは、メディアにおける一つの情報をうのみにせず、多種多様な情報を多角的視野から精査し、主体的に正しい情報を把握する能力のことです。

メディアリテラシーを高めよう！

近年は、インターネットの普及によりSNSなどを通じて簡単に情報を得たり、発信したりできるようになりました。

しかし、情報は正しいものばかりではなく、人権やプライバシーを侵害する情報も含まれており、差別や偏見につながる情報の拡散や悪意のある投稿に「いいね」と同調することで人を傷つけてしまうことがあります。

一人ひとりが、さまざまな情報をよく確認・判断し、常に相手の思いを意識した責任のある行動でメディアを活用することが大切です。

病気を恐れる心が偏見や差別を生み出し、 ウイルスの封じ込めを困難にしてしまう。

森光 玲雄さん

諏訪赤十字病院 臨床心理士

国際赤十字・赤新月社連盟心理社会センター 登録専門家

命を脅かすものを恐れる。これはどんな動物にも備わっている本能であり、本来恐怖心は生存の確率を高めてくれる良いもののはずです。しかし、新型コロナウイルスの発生以降「正しく恐れる」ことがとても難しくなっているように見えます。なぜ、難しいのでしょうか？

人間の脳は、見えない対象を恐れることがとても苦手です。脅威を明確に認識するためには、見える「対象」が必要なのです。見える対象を遠ざけることでかりそめの安心感が得られますから、安心するために嫌悪すべき対象を無意識的に探します。これが今回、ウイルスを連想させる「人種」「地域」「職種」「人」などが嫌悪の対象となり、偏見・差別が生まれているメカニズムなのです。

「病気を恐れる心が生み出す偏見や差別」。これは、さらに2つの弊害をもたらす危険性もあります。1つ目の弊害は、偏見や差別が広がると、自分が非難、差別されることを恐れ、必要な相談・検査を受けることをためらってしまうこと。結果として、感染拡大を助長してしまう可能性があります。2つ目の弊害は、医療者の疲弊です。検査や治療など、最前線で感染者への対応に忙殺されている全国の医療者。しかし現在、こうした保健医療機関のほとんどが、風評被害や嫌がらせを恐れて神経をすり減らしています。未知の感染症との戦いは長期戦で「最前線でウイルスに対応し続ける医療従事者が倒れたらもうおしまい」。これが SARS やエボラ対応から人類が得てきた教訓です。彼らを忌避や攻撃の対象として扱うのではなく、むしろ応援し支えるべき対象であると社会全体で声を出すことも早期解決につながります。

「正しく恐れる」のは難しいものですが、過度に恐れすぎると気づかぬうちに犯人探しや攻撃に加担していることもあるかもしれません。まずはご自分と家族の感染予防を徹底しつつ深呼吸！ こんなときだからこそ身近な人と支え合うことから始めてみませんか。

1

まずはリラックス
ほっとする時間を作ろう

「不安」から心を守る 5つの方法

落ち着きを取り戻すために、
次のような方法を試してみましょう。

2

熱中できたり
心が晴れる活動に時間をさく。
運動も効果的！

3

この「騒ぎ」から一步引いて、
別の視点を持つ人と
話をしてみる

4

「その情報は正しい？」
冷静に
情報の信頼性を考えよう

5

食べて（健康的な食事）、
寝て（質の良い睡眠）、
自分をいたわろう

つい陥ってしまいがちな「不安」の感染に気づき、セルフケアに努めましょう



今の私の日常 (小学校6年) (この作文は5年生のときに書かれたものです。)

私は、五才のとき、足が不自由になりました。幼稚園のときに初めて車いすに乗って始めはこわかったけど小学生になって少しずつなれてきました。でも、スピードを出しすぎると曲がりきれなくて、何度かこけたことがあります。それ以外でも毎日、車いすで生活をしていて、いくつか不便で困っていることがあります。みなさんは、車いすに乗っている人がどんなことで困っているか知っていますか。困ったときに、どんな気持ちになるか想像したことがありますか。

私は、よく友達と近所の公園に行きます。公園に行くと、すべり台やブランコなどの遊具を使って遊んだり、おにごっこをしたりします。おにごっこをしているとせまい道やポールがあります。そういうときは、別の道を探さなければいけません。また、遊具で遊んでいるときは、地面がくぼんでいる所や砂場に、車いすの車輪がはまり、ぬけなくなることがあります。そういうときは、自分で車いすをそう作してぬけ出さなくてはなりません。

いつも、困ったときは、自分でどうしたらいいか考えて、解決するようにしています。しかし、解決できないこともあります。どうしても解決できないときは、あきらめることがほとんどです。そんなときに、そばにいる友達や家族、大人の人に手伝ってもらうことがあります。あきらめてしまうところを、手伝ってもらうことで、みんなの私に対する大切な思いが伝わり、ほっとします。その度に、感謝の気持ちが自然と口に出ます。

これから、大人になって、社会に出るときには、だれでも不便なく利用できる環境であるバリアフリー、ユニバーサルデザインが進んでいるといいなと思っています。私にとっての大切な人に感謝する気持ちを忘れず、自分のできることは一生けん命とりにくんでいきたいです。

「性」と「偏見」と「人権」について (中学校2年)

去年の春のことだ。私はネット上で、ある人と知り合った。年齢が近く、同じ趣味を持っていることから、彼女と私は、すぐに仲良くなった。毎日のようにメッセージを送り合うようになり、その日もいつものように話しこんでいた。そんなときだった。彼女から、「私ね、バイセクシャルなんだ。」というメッセージが送られてきた。彼女は、LGBT だった。突然の告白に戸惑いつつも、私は道德の授業や本で読んだことを思い出し、こう答えた。「偏見ないよ」と、良い答えができたと思いきや勘違いし返したのだ。「私は、偏見がないって言葉嫌い」私はこのとき、この彼女からの返信を理解することができなかった。彼女からの返信は続いた。「皆、私が LGBT だって知ると、決まって言うの、偏見持っていないよって…。私はそれが辛い、自分が偏見をもたれる、普通じゃないのだと思い知らされるから。」このメッセージを見て、自分の「偏見ないよ」という言葉がどれだけ彼女を傷つけていたかを知った。「皆、私を LGBT の人って扱う、対等に見てくれない」彼女の言葉一つ一つから思いが伝わってくるようだった。自分の言葉を後悔し、彼女に謝罪した。彼女はそれを受け入れてくれた。彼女から送られてきた、おどけた泣き笑いのスタンプが、酷く悲しく感じた。

彼女の話から、私は大切なことに気づけた。椅子は座るもの、靴は履くもの、それと同じように、「LGBT の人」には「偏見がない」が模範解答なのだと思う自分がいた。私はあの日、酷くいってしまえば、彼女のことを「同じ人間」ではなく、「違う特別な何か」だと認識してしまったのだ。

「偏見がない」という言葉は、相手と対等にありたい、相手の人権を尊重する、とても素晴らしい言葉だ。だが、捉え方次第では、「あなたは偏見をもたれるような人だ。」と、相手が異常であり、自分が普通であるという言葉にもなる。

実際、人間は、自分で感じたこと、見たことしかわからないので、自分自身を基本にする節がある。自分が普通だと思い、自分と違う人のことを特別視してしまうのは、仕方の無いことなのかも知れない。

だからこそ、私達は、相手の立場に立ち、理解し合おうと努力すること、全ての人間が平等であるという人権について考えること、本や道德の全てを鵜呑みにしないこと、を大切にすべきなのだ。

「偏見がない」という偏見をなくすために。

私は彼女と、これからも友達であり続けたい、そして、「性」と「偏見」と「人権」について、考え続けていきたい。



作品集には、応募された2,435点の作品のうち、特選作品20点を掲載しています。

作品集ホームページ

<https://www.jinkenkyo.jp/past-message/>



父がくれた命と言葉（支援学校高等部3年）

僕は中学一年生のときに、自分の耳が聞こえにくいことで、すごく悩んだことがあります。そのきっかけとなったのが、僕の弟と、弟の友だちとのけんかでした。僕の弟が、僕が聞こえないことを友だちに話すと、友だちが僕の耳が聞こえないことをばかにしたので、それに対して弟が怒ったということでした。

それまでは、自分は聴覚支援学校の中でも聞こえる方だと思っていたのですが、けんかの原因を聞いて、「何でばかにされないといけないんだ？」

という疑問と、

「何で自分は聞こえないんだろう？」

という悩みが生まれました。その日からずっと悩み続け、だんだんと「死にたい。」と考えるようになりました。

その苦しさで耐え切れなくなったある日、父にその悩みを打ち明けてみました。すると父は、次のような話をしてくれました。

「お前は、未熟児で産まれたんだ。生まれてくる可能性は、ぐんと低かった。生死をさまよう中でお医者さんたちががんばって手術をしてくれ、助かったんだ。でもその代わり、目と耳が不自由になったんだ。でもお父さんは、障がいを持っていても生まれてきてくれて嬉しかった。生まれてきてくれて、本当にありがとう。お父さんもつらいことたくさんあるけど、お前を見ると、元気になれるんだ。大きな活力になる。障がいのある子どもでも、お父さんとお母さんの大事な子どもなんだよ。お前と普通の人との違いは、聞こえないということだけだろ？障がいというハンデはあるけど、そんなもの気にすんな。お父さんの役目は、お前を立派な一人前の大人にすることだ。これから先の人生は楽しいことがたくさんあるよ。一番親不孝なことは、何か分かる？それは、親より子が先に死ぬということ。自殺だけは絶対にすんな。」

父の強くはっきりとした言葉が、今でも心に残っています。

それから僕は、障がいの有無に関係なく、自分らしく生きていこうと考えるようになりました。もしかしたらこれからも、聞こえないことで「死にたい。」と思うことがあるかもしれませんが、しかし、前向きに新しい気持ちで生きていきたいです。自殺は周りの人を悲しませる、本当にしてはいけないことだと思います。僕はがんばって生きぬいて、いつか父に恩返しをしたいと思います。

迷いのトンネル／日本語学習（成人）

私は、仕事で台湾に来ていた夫と知り合い、来日、もう三十年以上になります。漢字の国からといっても、読み方も意味も違うし、台湾にひらがなはありません。

「大丈夫」は台湾では「男らしい男」の意味。

「大丸」を「おまる」と読んで笑われました。

ビルの管理、お好み焼き屋、料亭の洗い場、社長のお母様の世話などいろいろ働きました。お好み焼きも台湾にはない。テコでひっくり返すのは難しく、粉の配合も難しくて失敗ばかり。店長はいらいらして、私のところまで来て足をふみつける。もう、情けなくて。

昼間の仕事を終えてから、料亭の洗い場で皿洗いの仕事。平日は大阪に住み、土日は夫の家で、という生活。数年前、堺の夫の家から仕事に通うようになり、人権ふれあいセンターの日本語教室「つどい」に入れてもらいました。

「日本人のように話したい！」「日本語を一から学びたい！」と、思っていたからです。日本の漢字は難しい！でも、勉強は楽しい！ひらがなも何度も何度も練習しました。

社長あてに年賀状を書いたとき、年賀状には「、」や「。」は、つけないのだと習いました。日本人のように文を読むことはまだまだです。伸ばす音「一」とつまる音「つ」の読み方がなかなか上手くいかない。

昨年三月、介護ヘルパー初任者研修を受けました。仕事も休まず、夜遅くまでノートをまとめていると、夫はやさしく「よく頑張るなあ」と、鉛筆を削ってくれました。介護ヘルパー二級合格！夫もニコニコ顔でした。

昨年秋、久しぶりに台湾に帰国。台湾の人たちは、いっぱいのご馳走で大歓迎！もったいないようなぜい沢な生活でした。「さあ、上がって！」と、受け入れてくれる気さくで開放的な台湾から日本に戻ると、日本の閉鎖的な部分を感じて、少し寂しくなりました。日本人はやさしい。でも「本音」と「たてまえ」がよくわからない。親しくなっても、「低い壁」が間にあるようで寂しくなる。

若い外国人は、日本語が少しでもできるようになると、昼間の教室はすぐやめてしまう。親しくなっても、すぐお別れだ。

台湾から戻ったとき、つどいでは、秋のフェアの舞台練習が進んでいて、一瞬おきざりに、なったような寂しさを感じました。仕事の面でも電車の乗り換えが増えたこと、弟妹が来日するなど、生活のあたたかしさもあり、台湾に帰ったらもう日本語いらないしなあ。日常生活には、困らないしなあ。歳もとってるし、もう勉強やめようかなあ。

残りの人生、おもしろおかしく過ごすのがいい？仕事や勉強頑張ることで、充実感や幸せをたくさん味わうのがいい？「えっ、どういうこと？」など、外では聞きにくいことでも、「つどい」でなら聞けるよね？トンネルの中で自問自答を繰り返した。

入院先から戻って来られた社長のお母様が「陳さん、長い間ありがとう」と、心から。この重みのある言葉に、心が揺れた！

私は日本が好き！日本語をもっと磨き、日本の文化を理解する。もしかして「閉鎖的」は、人と人との関わりに慎重だということ？日本人と同じ立場で話していけるだけの力をつけて、台湾の親族にも繋げていく。

新しい年、やっとトンネルから抜け出た私。コロナの時代を乗り越え、日本の素晴らしさを信じて、悔いのない人生にしたい！です。

堺市人権推進課では、人権啓発 DVD を無料で貸出しています。

貸出作品の一覧は

堺市人権啓発ビデオ貸し出し

検索



※DVD は日本語音声のみで外国語対応はありません。

お問い合わせ先 TEL 072-228-7420 FAX 072-228-8070



DVD

個人情報

子供防犯スクール

約23分

ネット・SNS トラブル編

家族や友だちと気軽にコミュニケーションがとれる SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の機能を持ったさまざまなアプリやネットサービスは、今や子どもたちにとっても身近な存在となっています。しかしその一方で、犯罪の原因になることもあります。

ネットや SNS にまつわるトラブルから子どもたちを守る方法を専門家の先生が、優しく・楽しく教えてくれます。



DVD

性的マイノリティの人権

みんなで考える LGBTs

約25分

①～③巻

性に関することは誰もがその主体であり、これらを理由とする差別や偏見にさらされないようにする必要があります。自分の性別の考え方や、どんな性別に惹かれるかは個性の一つです。

本シリーズは、性の多様性を人間の個性の一つとして学ぶ機会ととらえ、LGBTs の当事者である児童生徒が、ありのままの自分でいいという自己肯定感、自尊感情を育むことをめざした映像教材です。

Sustainable Development Goals



SDGs は、地球上の「誰一人取り残さない」ことを掲げています

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015 年の国連総会で採択された 2016 年から 2030 年までの 15 年間に、貧困や不平等・格差、気候変動、資源の枯渇、自然破壊などのさまざまな問題を解決し、私たちの世界をよりよくすることをめざす、世界共通の 17 のゴール（目標）です。

人権協では、SDGs パネルやシールで SDGs の周知を行っています。今後も、堺市や関係団体などと連携・協力して、幅広い人権教育・啓発活動を推進するなど、SDGs の実現に向けた取組を進めていきます。

堺市は 2018 年 6 月に国から「SDGs 未来都市」に選定され、SDGs の実現に向けた取組を進めています。



SDGs 未来都市・堺
Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY

堺市では、女性や子どもをはじめ、すべての市民にとって安全・安心なまちをめざす「堺セーフシティ・プログラム」に取り組んできました。2019 年度で 5 年間の計画期間が終了しましたが、2020 年度からはこれまでの取組と実績を踏まえながら、活動名称を「セーフシティさかい」とし、取組を推進していきます。

